

# (13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

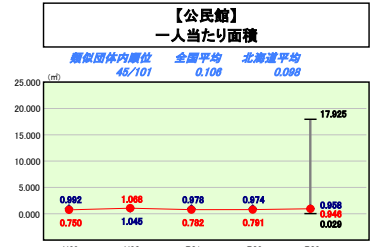
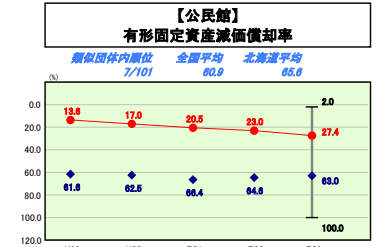
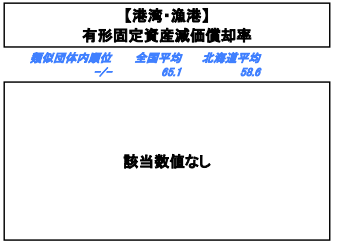
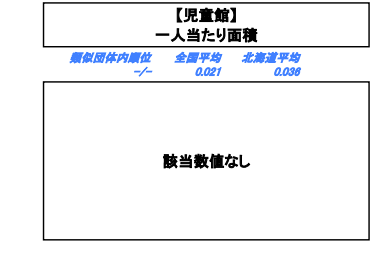
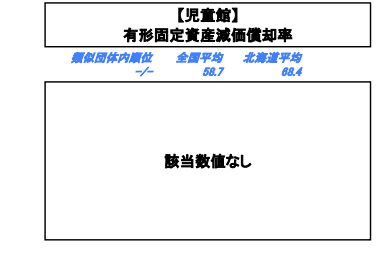
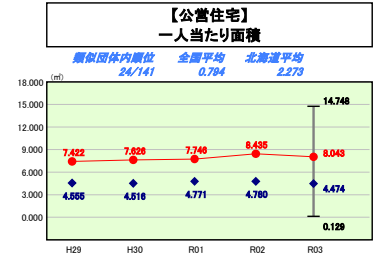
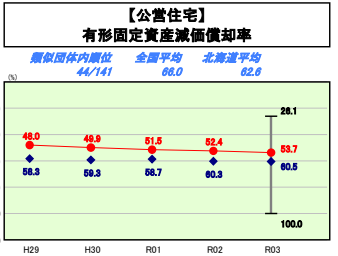
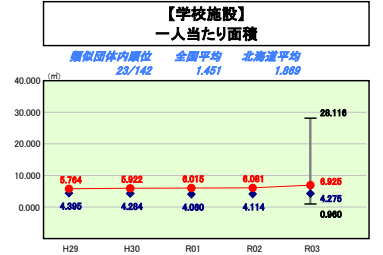
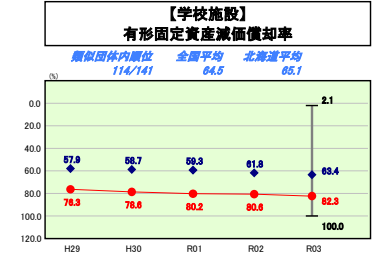
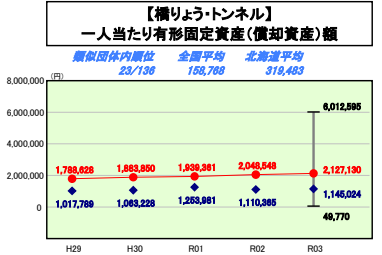
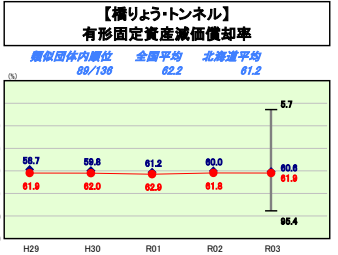
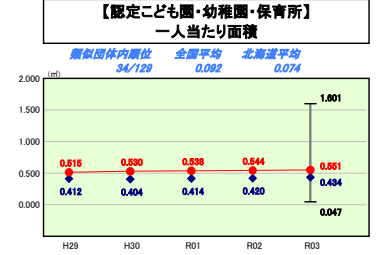
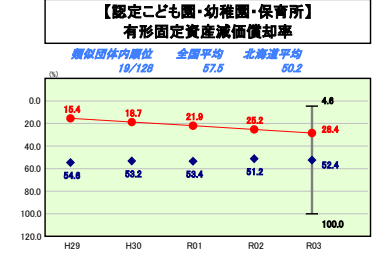
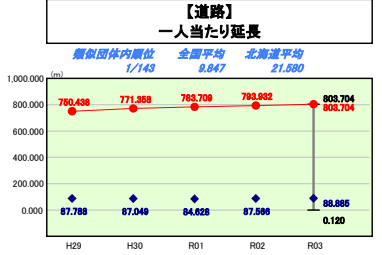
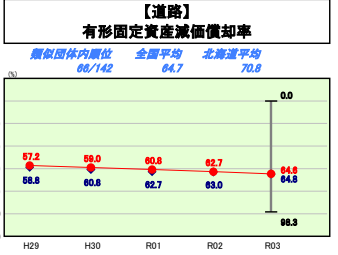
令和3年度

北海道幌延町

人口	2,240人 (R4.1.1現在)	実業赤字比率	-%
うち日本人	2,217人 (R4.1.1現在)	連結実業赤字比率	-%
面積	574.10km <sup>2</sup>	実業公債費比率	6.3%
歳入総額	5,023,255千円	将来負担比率	-%
歳出総額	4,789,757千円	市町村類型	H29 I-O H30 I-O R01 I-O
実収支	134,188千円	(年度毎)	R02 I-O R03 I-O
標準財政規模	2,920,272千円		
地方債残高	3,190,020千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答があった団体に関するもの。



**施設情報の分析**  
 類似団体と比較して特に固定資産減価償却率が高くなっている施設は、学校施設であり、特に低くなっている施設は、認定こども園等及び公民館である。  
 学校施設は、有形固定資産減価償却率が82.3%となっており、平成25年度に各学校保全計画を作成している。また、令和2年度には問寒別小中学校の体育館天井改修を行う等、老朽化対策に取り組んでいる。  
 認定こども園等は、有形固定資産減価償却率が28.4%、公民館は、27.4%となっているが、平成26年度に幌延町認定こども園を新設・平成27年度に問寒別生涯学習センターを建て替えたことが原因であると考えられる。今後、公共施設等の維持補修に要する経費が増加することが見込まれる。